

## 1. 会合の概要

**会合期間・場所**：2020年5月25日（月）～27日（水）、E-Meeting

**目的**：WRC、SGなど無線通信部門の運営方針について検討し、無線通信局長に助言。

**出席者**：各国主管庁、無線通信局（BR）等から約220名、日本からは総務省、NHK（西田SG6議長）他計7名出席

## 2. 主な結果

### (1) 衛星調整ファイリングの電子申請プロジェクト（WRC-15決議908の実施）

- ・本プロジェクトに関して、日本は2017年からITU-Rへの資金拠出及び総務省職員の派遣により支援を実施。
- ・日本から、WRC-19でも同決議が維持されたことを指摘。プロジェクトを継続実施し、オンライン申請システムの拡張、ITツールの更なる開発により衛星調整手続の効率化・迅速化を図るよう要求した。
- ・カナダ、オランダ、BR局長等から日本の貢献に対して謝意が述べられるとともに、BRからは日本の提案に沿って開発を進めることが表明された。

### (2) 2019年無線通信総会（RA-19）からの指示への対応

- ・RA-19が以下3事項の検討をRAGに指示したことを受け、コレスポネンスグループ（CG）の設置について議論。
  - ①WP議長の最長任期の検討、②新任SG議長、副議長へのトレーニングのための条項追加を含むITU-R決議1（作業方法）の見直し
  - ③複数のSGに文書が関連する場合の承認方法に関するITU-R決議1（作業方法）のあり得る修正の特定
- ・ロシアが速やかなCG設置を求める一方、米国は緊急性がないとして次回会合での設置を提案。CGの活動範囲についても範囲を限定的にしようとする米国とロシアで合意に至らず、CG設置は次回会合に見送られた。

### (3) その他

- ・地域のWRC準備会合について、イランからAPTを除き既に第1回会合を開催したか来月開催する中、APG\*もオンラインでの早期開催に向けて調整している旨紹介があり、出席していたAPG議長もこれに同意した。  
※APGは、APTのWRC準備会合。現時点では第1回会合であるAPG23-1を本年第4四半期に中国で開催予定。
- ・WP5Dの次回会合が15日間（6/23-7/9）に渡ることに関し、イランから長過ぎで、他のWPとのバランスを考慮すべきだとの発言があり、米国も同調。出来るだけ当初の時間枠を維持すべき等WP5D議長に要請された。
- ・WRC-19で採択されたジェンダー公平性等に関する宣言に関し、この実施のためのCGが設置された。
- ・次回RAG会合は、2021年3月29日～4月1日を予定。